授業科目	ソーシャルワーク実習Ｂ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期
担当教員	今村　浩司、梶原　浩介						
授業概要	精神保健福祉士国家試験受験資格取得のためのソーシャルワーク実習 A を終了した学生を対象とする。この実習 B では、実習事前の授業と現場実習を行う。現場実習の期間は 8 月～9 月の 15 日間を予定する。 （社会情勢や実習先との調整が必要で、状況によっては変更も有り得る） 精神保健福祉領域での相談援助の経験を有する実務家教員が、地域の障害福祉サービス事業を行う施設等において実習指導者と連携を図りながらその指導のもと、精神保健福祉相談援助に係る知識と技術について実際的に学ぶ。						
授業形態	実習			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について、具体的かつ実際的に整理ができ、実践的な技術等の体得している。 ２．精神保健福祉援助実習を通して、 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に説明できる。
理想的レベル	１．精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について、具体的かつ実際的に理解したうえで実践的な技術等の体得してる。 ２．　精神保健福祉援助実習を通して、 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に理解したうえで説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物		
その他	70%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21314J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
実習の目的、目標、到達課題等に対して事前学習や事後学習を行う。	1

授業計画

第１回	地域の障害福祉サービス事業を行う施設等での実習を通して、以下に掲げる事項をできる限り経験し、実習先の実習指導者による指導を受けるものである。 １．利用者やその関係者、施設・機関・事業者・団体住民やボランティア等との基本的なコミュケーションや他者との付き合い方などの円滑な人間関の形成 ２．利用者理解とその需要の把握及び支援計画の作成

	３．利用者やその関係者（家族・親族・友人等）との支援関係の形成 ４．利用者やその関係者（家族・親族・友人等）への権利擁護及び支援（エンパワメントを含む）とその評価 ５．精神医療・保健・福祉に係る多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際 ６．精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務への理解 ７．施設・機関・事業者・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解 ８．施設・機関・事業者・団体等の経営やサービスの管理運営の実際 ９．当該実習先が地域社会の中の施設・機関・事業者・団体等であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解
テキスト	特に定めません
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「我が国の精神保健福祉」厚労省障害保健福祉部精神・傷害保健課監修最新版
課題に対するフィードバックの方法	実習指導者の評価、前期事前授業におけるレポート、授業貢献度、事後授業におけるプレゼンテーションにて評価し、コメントをもってフィードバックします。その他については、実習日誌の内容についても評価します。 但し、実習前授業の出席及び貢献度が低い場合には、現場実習は不可とします。
学生へのメッセージ・コメント	精神保健福祉に関する演習や実習指導の内容と関連して、事前授業を進めていきます。各自、実習に向けての自主学習を含めて、関連科目の理解を深めて、実習に臨んでください。